

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
1	<p>先ほどお話(冒頭のプレゼン)の中で、高齢者の電動アシストの自転車の購入費の補助や、自転車利用の促進中だということで、市民としても健康や地球にも優しいってということで、私自身も今年電動自転車を購入して通勤の時に利用していたので、すごく賛同できる部分が多く聞いていました。私はTXの研究学園駅を利用しているんですが、その際に、駐輪場の通路に自転車が溢れてたりとか、出入口付近に駐輪されている事が集中されていて、通勤時の駐輪自体が困難になっていたり、帰りは他の自転車で通路や自転車自体が塞がれて出しにくくなっているという部分もあったので、もし今後自転車の購入などの促進が進んでいく中で、駐輪場のこともご検討いただければと思います。</p>	<p>ご迷惑をおかけしています。ここは市としても、例えばちょっと通路にはみ出してるような自転車に対しては、警告の札を貼ったりしてお願いはしているんですが、それでもなかなか、それで改善してくれる人と、全然関係ないよっていう方と分かれてしまってるのかなと思っていて、課題感は感じています。駐輪スペース自体は、特に研究学園西側は、まだ少し余裕があるので、ちゃんと止めていただければ、スペースとしては本来足りているはずなんですけれども、今ご指摘いただいたような課題がありますので、結構頻りにパトロールを管理人の人に行ってもらって、動かしてもらったり警告したりというのはやっていて、そういうことをとにかく繰り返していくことが必要かなと思ってます。あまりにも何度も繰り返されるようであれば、より踏み込んだ形の警告というのを出していくということもあると思いますが、できるだけご協力いただけるような働きかけを継続して、これからも行っていきたいと思っていますし、今お話しいただいたように積極的に自転車に乗っていただいているというのは非常に嬉しいことですので、皆さんが自転車に乗るときに、やっぱり不便だよとか、段差がひどいよとか、これもつくばで何十年も言われ続けてるんですが、そういうことも含めて、乗りやすい環境をいろんな形で用意していきたいと思っています。</p>
2	<p>①万博記念公園の駐輪場が新しく作られたようなんですが、道路を隔てて作ってるんですね。道路を渡って向こうに行くというのは、一つ信号のところまで遠回りして来なきゃならないってことがあって、とても使えるものではない。今のところを駅側に拡張していただきたいかった。どうしてこんなふうになっちゃったのかなと思ってます。</p> <p>駐輪場というのは、カスミから駅に向かってずっと高架下になってるんですけど、そこに駐輪場があるんですね。駅に行くために、そこに自転車停めて行くんですけど、いつも満杯でごちゃごちゃしてるんです。これは拡張して欲しいなと思ってたんですが、拡張されたのが、道路を渡って信号遠回りして渡って、それから使えるような駐輪場なんで、それでは意味がないんです。</p> <p>②たぶん私だけじゃなくて、そう感じてる人が多いと思うんですけど、それをどこに持って行ったらいいか分からないっていうのが現状じゃないんでしょうかね。</p>	<p>①拡張のスペースもいろいろTXを運営している会社と話をしたりしてるんですが、OKが出る場所と出ない場所というのがあって、必ずしもいつも理想通りの場所に拡張できることばかりじゃないんですが、今こういうお話をいただきましたので、改めて現地を確認しながら、どういう形で話をしていくかということを調整をしていきたいと思っています。もちろん既存の駐輪場がそのまま拡張できれば一番いいんですけども、結構いろんな制約があって、TXの持ち物なので交渉が必要になってくるんですが、逆にこういうご意見いただけると、市民からこういうご意見いただけてますということで改めてお伝え出来ますので。</p> <p>②ありがとうございます。しっかりこちらから話をし、どういう方向性かというのを改めて確認できればと思います。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
3	<p>今年の夏は本当に暑くて、子供を公園に連れて行っても、すべり台が暑くて、子供も暑いと言って滑らなくて、ストレスが溜まるというか、こっちも体力的にもきついので、私もつくばの遊び場について詳しくないのはあるんですが、屋内遊び場というのを何点か設けていただけるとありがたいなってつくづく思うんです。どこにあるかとか、もっと増やしていただけるっていいことはないのかなと思っています。</p>	<p>私自身も子供が小さい頃は、当事者としても非常にニーズを感じていたところでした、実はLALAガーデンの中にあっただんですけども、LALAガーデンがなくなっちゃって、結構貴重な場所として使われてた場所がなくなってしまう、それは正直ちょっと痛いなと思っているところです。市としては、お使いいただいているかもしれませんが、子育て支援センターというものがありまして、これは公立でやっているところ、桜庁舎の跡地にありますが、他にも民間で子育て支援センターの機能を委託してお願いしているところがあるので、暑い時はそういう場所をぜひ積極的にご活用いただければなと思っています。</p> <p>あわせて、実はあまりこれは知られていないんですが、各地区にある児童館は平日の午前中などは、児童館に登録とかしてなくても誰でも行っていい場所ですので、こういう場所をより地域の子育て世代の皆さんに開いていければと。放課後に子供たちが行く場所みたいなイメージで知らなかったという方も多いので、広報の仕方とか、或いはもうちょっと充実させる方法とかを今考えています。本当にこの暑さの中、ちょっと危険なレベルだと思うので、もちろん外で元気に遊べるようにはしたいですけども、そうじゃないような時にも、行き場所が親子にとってあるようなまちにしたいと思っていますので、そういうことから充実させていきたいと思っています。基本的には、LALAガーデンにあったような場所を民間で作ってくれるといいなと思っているのですが、今のところちょっとまだ様子が見えないので、何らかこちらでもいろいろな企業から相談などが来た際には、そういう要素どうでしょう、なんていうことを打ち込んでいこうにはしたいなと思っています。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
4	<p>①つくスマをよく利用して、非常に情報発信されていて助かっています。ぜひつくスマの充実について引き続きお願いできればと思います。</p> <p>その中で、将来的につくスマのサービスか、もしくは市のホームページの一つとしてボランティアのプラットフォームというのがあればいいなと思っています。今私も個人的にボランティアをしたいという思いがありまして、小さい子供がいるので、その中でボランティアができればいいなと思って探すんですけども、つくば市で今どういったボランティアがあるかといった一覧があまりなくて、あったとしても、ちょっと電話をかけてみると、ここは担当が違うのでここに付けてくださいといったように、ネットでオープンになっていないようなところの担当者に繋がるとか、あとNPO法人も地域によって違うので、電話をかけて調整しないといけないといったことがあります。ちょっとエントリーしにくいなというところがありますので、その点ちょっと無理ない範囲で、今後そういうところがアクセスしやすくなれば、どんどんボランティアの方が増えて、活性化にも繋がるんじゃないかなと思っています。</p> <p>②確かにホームページにするっていうのも大事ですが、私もつくば市役所が近いので、よく通って紙も見たりするんですね。ただ、今おっしゃったようにボランティア一覧の広報が紙でもあるようでしたら、それを市役所に置かれるところからでも、私はいいなとは思ってまして。そういう一覧が市役所のフリーペーパーゾーンにはなかったような気がするのですが、その辺りもあればありがたいなと思ってます。優先度があると思いますので、優先度高いところからお願いします。</p>	<p>①自分でいろいろ動きたいとおっしゃってくださってる方の気持ちをきちんと形にできることは、まちにとっても、みんなにとってもプラスになるものだと思いますので、ぜひやっていきたいなと思っていますが、実は今ちょうど端境期にありまして、ボランティアの皆さんの拠点っていうのが、冒頭のプレゼンでも話した市民活動センターという場所が、今までつくば駅前のセンタービルの中にあっただんですが、つくばの市民活動の人の数に比べると、非常に小さく、使い勝手の悪い場所だったんですね。それを、今一旦カピオ前に引っ越しをして、先ほどお話をしたつくばセンタービルの中をリニューアルして市民活動の拠点とします。例えばそこに来れば、どういうボランティア団体があるとか、或いはいろんな団体の皆さんがそこでイベントをやったりして、ボランティアの募集をしたりとか、今もすでに広報紙があつて、そこには紙のボランティア団体一覧みたいなものがあるんですけども、確かに今、市のホームページでボランティアが可視化はされていない状況だなと感じました(※)。今回市民活動センター機能を持つセンターが来年の2月に今オープンをする準備をしてるんですが、本当にいろんな人が行き来するような場所にしたいと思っているので、機能を充実させていくと同時に、ボランティアの情報発信をもう少し分かりやすく、ここを見れば、例えばどういう団体がどういうボランティアを募集してるよっていうようなことが、もう少しわかりやすくなるような表示の仕方や、発信をしていきたいなということを感じますので、担当にそういうことも含めて準備をするように話をしたいなと思っています。</p> <p>※訂正 市のホームページで検索ワード「市民活動支援」と入力し検索すると、市民活動団体やNPO法人の情報や市民活動団体の定期活動案内を御確認いただけます。</p> <p>②置いてあるかどうか、「ぴよ」っていう広報紙なんですけど、この団体がもう今活動を停止してしまったので、市として公式に発行してるものじゃなくて市民活動のグループが発行している情報紙なので、ひよっとしたら置いてなかったのかなと。そんなこと言ってもしょうがないので、確認をしてみたいと思います。あわせて、先ほどのつくスマなんかでも、本当はそういうインタラクティブなことができたり、登録者に対してボランティア募集が出たら、そこに通知が行くような、そういう仕組みにもしたいなと思ってんですが、なかなか一気に全部とはいかないので、ちょっとずつ進めていきたいなと思います。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
5	<p>①先ほど他の参加者からも暑さが尋常じゃないという話がありました。この耐えられない暑さっていうのは、残念ながらしばらく続くと考えております。これを防ぐにはカーボンニュートラル、脱炭素社会にしていくことが必要なんですけども、これについては、日本は欧米に比べて勉強が進んでいませんので、まだまだ皆さんの知識が足りないことがあると思います。つくば市は、多数の研究所や大学が市内にありまして、あと芸術のすぐれた方とかスポーツできる方もたくさんいらっしゃいますし、若い方もたくさんいらっしゃるの、脱炭素は若い人の問題でもありますから、そういう若い人と一緒に考えることがとても重要だというふうに考えていますし、つくばなら今すぐでもそれができると思っていますので、ぜひその辺り力を入れていただきたいと思います。先ほど気候市民会議っていうものが9月から始まるっていうことがありましたが、それをきっかけにして、ロードマップを作ってください、もう勝負の10年、あと7年しかありませんので、ぜひつくばから提案をしていくような形にしていきたいというのが私の提案です。</p>	<p>①本当に、気候変動ではなく、もう気候危機というか、地球沸騰化時代に入ったということ、国連の事務総長も言っていましたけれども、もうウォーミングじゃなくてボイリングだということで、私も最近ちょっと麻痺してしまって、32度ぐらいだと今日はちょっと楽かなみたいに思ってしまう、この感覚の狂いが至る所に影響出てると思いますので、本気で取り組まなくてはいけないと思っています。市でも温暖化対策の実行計画というのは作って改訂もして、取り組んでいるんですが、やはり気候市民会議はその意味でも非常に重要だと思っています。今、お話ありましたように、いろんな世代が入っていくのが大事なので、今回の気候市民会議でも、若い世代にもきちんと入ってもらおうということで、確か16歳を下限にしたと思うんです。嬉しかったのは、この気候市民会議っていくつかの自治体でやっているとあるんですが、まず無作為抽出をして、たくさん送って、あなたは会議に参加してもいいですかっていうものに返事をしてもらったんですけども、大体その応諾率、やってもいいよと返事が来る割合が、他の先行してる自治体だと2%~3%ぐらいなんです。つくば市も各研究機関の皆さんと一緒に実行委員会を作ってやっていて、つくば市ですからちょっと超えて3%~4%ぐらい行くといいですねと言われていたんですね。まず無作為抽出で5,000人に送ったら、何と560数人ということで、11%を超える応諾率で、かなり研究者の皆さんも驚いていたんです。仕掛けとしても1回あたりの参加の謝礼とかを他の自治体よりも少し高くしたりはしたんですが、おそらくそういう次元ではなくて、それだけ環境に対する意識が高い方というか、危機意識を強く持った方がつくば市にはそれだけいるんだろうなということで、これはかなり心強く思ったんですね。これから気候市民会議が始まりますけれども、記者会見でも言いましたが、これは担当もみんな同じ思いでいるんですけど、ここで提案されたものは原則すべてやると。こっちで誘導するわけじゃないんで、どんなものが出てくるかわからないのでちょっとドキドキするんですけど。ただ全部をやるという、そうじゃないとただのアリバイづくりで終わってしまいます。逆に言えば、そういうプロセスも含めて集まって、結局最終的にはその50人の方がその中でいろんな年齢とか地域とかのバランスで選ばれた皆さんたちが議論をしてくれて良いものを提案していただけることを、とても楽しみにしていますし、これをまた一つのスタート地点として、この地域全体にこの取り組みを広めていきたいなと思っています。ぜひご期待いただければと思います。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
	<p>②ありがとうございます。地球環境問題、温暖化もそうですけど、以前は外交問題としてしか認識されてなくて、自治体の方とか市民の方が、じゃあ何するんだって話がなかったんですけども、これからは脱炭素の話になるとそうはいかなくて、むしろ自治体とか市民の皆様に理解してやっていただかなきゃいけなくなりますので、ぜひよろしく願いいたします。</p>	<p>②一人一人がやれば、いろんなことができると思うんですよね。例えばつくば市で、先ほどプラスチックごみのいろいろ回収する前、つくば市の排出量って全国平均的にも目標値に足りてなかったんです。でも、毎日1人が50グラム位のプラスチックを減らしてもらえれば、全然達成できるんですね。50グラムのプラごみって、それ位なら本当に簡単にできます。そういう分別をしてもらえるようになるだけで違ってくると思うので、それをできるだけ多くの市民がアクションにつなげてくれれば、十分達成できると思ってます。頑張っていきたいと思います。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
6	<p>学校のことで、不登校の支援で校内フリースクールを作っていたという話があったんですけども、とは言っても全校で整備するまでまだまだ時間がかかると思うんですけども、その間で、市としてガイドライン的なことを示していただけるとありがたいなと思ってご意見させていただきました。というのは、学校に行けない子が、とりあえず図書館なり、職員室なり、どこかでだったら登校できるっていう状況で、低学年の時担任の先生が、じゃあ図書室空いてるから図書室でお母さんと一緒だったらいいですよ、なんて言っていたいて、じゃあそれでって行ってたんですけども、学年が上がって担任が変わったら、それは他の生徒からずるいって言われてしまうので駄目だと言われてしまうってことがありまして。なので、学校単位で決めてるわけではなくて、担任の先生のお考えで対応が変わってしまう、それも1年ごととかではなくその場その場で変わってしまったり、同じ年でも、何々さんのクラスは行っていいって言われたけど、他のクラスでは駄目って言われるってことが発生してしまっていて。それを一貫性を持ってやって欲しい。誰かができるのであれば、他の全員もできていいはずのことで、そういう一貫性がなくて、せっかく誰々君は保健室、図書室登校してるって聞いて希望を持って、私もそれならできるって思ったのに、駄目だと言われてたときに、そもそも学校に行けない子たちが勇気を出して行ってるところで、そこで腰を折ってしまったら余計に不登校への気持ちが強くなってしまふ。そういうことをしていかなければいけないと思うんですね。なので、学校単位でしっかりそこを、公立の学校は先生の入れ替えとかもありますので、常に同じ環境を求めるのは無理かもしれないですけども、せめて毎年その話し合いをして、学校単位でしっかり決めていただくってことをして欲しいなと思ってます。それを市の方で、全校にガイドラインなんて、できないところに無理してやれとは言いませんけれども、なるべくこういうふうにして欲しいっていうお願いをして欲しいなと思いました。</p>	<p>本当にそういう対応が起きてしまったことは申し訳ないので、ちょっとよく話をします。前提として、まずフリースクールは全中学校で今年整備をして、小学校も、小中一貫校は6校かな、整備をしたんですね。で、来年度にはすべての小学校でも、このフリースクールを整備をします。ただ、実際には過渡期というか、まだ我々の努力不足で、先生にも個人差が出てしまっているということは、実際には起きてしまっているなと思います。実は私の近くでもこんな事例があって、不登校の子でもそういう場所ができれば行っていいかなと思ったと言うんですね。それに対して、じゃあ校内フリースクールで漫画読んでいいのって言ったら、先生が駄目って言うちゃったんですね。じゃあやっぱり行きたくないっていうことになって。我々としては、もうどんな状況でもいいのでまず安心して少しでも行きたいと思ってくれた子供が行けるようになる場所にすることを目指しているんですけども、今お話あったように不公平とか、他の子が嫌がるとか、そんなことやったらみんながそっちに行っちゃうとか、そういう話があったりして。いや、それならそれでいいんじゃないかと、学校が辛かったり、或いは、今教室で本当にぎりぎり頑張ってる子たちが、ちょっと息抜きに、そういう場所に来るようなことができて、それでいいんじゃないかっていう話をして、そういうスタート当初起きた問題は、今少しずつこうやって解決をしていっているんです。ただ、正直まだ慣れていないので、運用面で学校で少し差があったりするんで、それはできるだけ統一した方針にしていきたいと思ってます。まだフリースクールができてない学校でも、来年にはもうできますので、できるだけ今お話いただいたようなことが起きないように、つくば市としては、児童生徒支援のあり方というのを、指針としてまとめています。それを各学校に共有して、こういうことをやれるようになっていこうかをやっています。本当に残念ながら、たまに担任の先生から、そんなの根性でやれみたいな話がたまに起きたりしてしまうので、そうじゃないですよっていうことは、個別の事案ごとに結構具体的に話をしていきたいと思ってます。いただいたお話は共有させていただいて、改めてそういうことが起きないようにというのは、教育長によく伝えておきます。もし今後もあったら、また市長へのメール等いただいたら、すぐに個別に入っていきます。ご負担をおかけしますが、お子さんが少しでも安心していけるような場所を作っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
7	<p>①つくばって自動車での社会が中心だと思うんですけど、一方で最近バス停が屋根付きのバス停に変わってきたと思うんですけど、その辺の意図をまずお聞きしたいのと、あと、ちょっと感じるのが、市役所の前の、朝は特にそうなんですけれども、職員さんの車の行き来が多いにもかかわらず、信号がないとか、あと週末の渋滞について、市長はどのようにお考えなのかをお伺いしたいです。</p>	<p>①まずバス停の屋根については、基本的には雨の中でも待っていただけるようにするという意味で屋根は増やしていく方針ではありますが、予算は事業者が一応付けていくことが中心になっているので、企業のスポンサーを見つけて整備をするというようなことが中心ではあります。それを例えば、さらに今県とも話をしているのは、バスによって車が停まるので、これをバスの逃げ場としてバスベイという形で凹ませるような工事も本来必要なんですけど、これも本来県に東大通りとか西大通りやって欲しいんですが、県としては、それもバス事業者の仕事でしょということになってしまってるので、いやいやそういうことを言わないで一緒に考えましょうという話を今しているんですが、そういうふうなバスの利便性、まず乗る人たちと、既存の車とがきちり共存できるようなことはしていかなきゃいけないなと思っています。屋根については、少しでも増やしていきたいとは思っているところですが、それを予算を市で取って進めているというわけではないですね。</p> <p>市役所の前とは、おそらく市役所の出入口のことをお話をされてるんだと思いますけれども、あそこも実は警察と何度も協議をして、信号を付けてもらえないだろうかということは何度もやりとりをしているんですが、結論としては、信号って間隔が一定程度なくてはいけないので、その先の通りに信号がついていてその手前もついていて、あの距離に信号をつけることはできないというのが警察の結論です。なので、職員にも特に退庁時間、市役所から帰る時間は、職員がめっちゃくちゃ集中するので、もうそちら側の出口からは職員は出られないというルールにしました。皆さんの通行を妨げてしまうわけにはいけないので、17時15分から18時半くらいまでかな、一斉に職員が帰る時間というのは、非常勤の会計年度任用職員さんたちも含めて、そっちはもう通らないようにという通知を出して。今までよりは随分とそこあたりの混雑は減ってると思いますが、それでもやはりあそこは事故が非常に多いので、その都度警察に話したりはしていますが、今のところ、どちらかというとソフト面で、職員が一斉に出たり入ったりすることで迷惑をかけるようにしようということは、2年ぐらい前からずっとやっているところです。</p> <p>ただ、3点目に繋がりますけれども、やはり人口が増えて、車も増えていて、特に研究学園あたりの渋滞が、非常に深刻だというのは把握をしております。これについては、例えば、研究学園に来る手前で、別の方向に誘導するように、いろいろ県とも協議をして、看板を付けたり、迂回をしてもらって、研究学園が目的地でない方たちが中に入って来ないようにする誘導看板等は設置をしています。本来はもう少し拡幅ができたりすればいいと思うんですけども、なかなかそれができるエリアばかりでもなくて、そも</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
<p>②ありがとうございました。市長のご回答で1点確認なんですけど、屋根付きのバス停と自動運転っていうのは特に関連性はないっていうことでよろしいんでしょうか。</p>	<p>そもなぜこういうことになったのかを聞いてみると、本来沿道に店舗が張り付くことを想定していなかったところに、店舗が張りついているとか、あとは特にトリセン前は、あそこは高架なり下に通すという計画だったんですが、それも県としてはもう実施しないという結論になったというあたりで、計画した頃の読みがちょっと外れているというのが実際なんだと思います。実は、私も渋滞学の専門家というような方がいるので、その先生に来てもらって、どういう形の分析のしようがあるとか、どういう対応の仕方があるかというようなことも相談したりしたんですが、絶対的な交通量が多い場合は、やはり対策としてもなかなか施しようがないという、身も蓋もない結論なんですけれども、専門家の目線として、一定の時間に一定以上の車両数がある場合は、もうそれは来ないでもらうしかない。それから、やはり乗り換えてもらうしかないということでお話がありましたので、警察からも信号で渋滞情報のデータとかもらってるんですが、渋滞箇所の少し手前から、どういう道路の配置ができるかとか、そういうことは今も道路の整備のプログラムの中で検討しているんですけども、やはり少しでも、車で移動する方が別の手段、できれば自転車に乗り換えていただくということが、すごく遠いようで、実は一番ストレートな解決策でもあるんだろうなと思ってます。ただ、それだけやっても、時間がかかりますので、その道路をどうするかということはあわせて進めています。ちょっと市道の部分で触れる部分は触りますけれども、県にもいろいろお願いをしながら、何とかこの状況は改善していきたいとは思っております。ご負担をおかけしてることは申し訳なく思います。</p> <p>②そうですね、それは別の文脈です。自動運転のために屋根付きをしているというわけでは特にはないですね。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
8	<p>私の方はちょっと全体的な話になると思うんですけども、つくば市、皆さんご存知の通り、いろんな世代がいろんなところにどっちかっていうとまとまってる感じですね。例えば、私が住んでいる森の里は高齢化地域とか荃崎は高齢化地域、研究学園とかみどりのとかっていうのは、子育て世代がたくさん来ていただいているという形です。私、40年前から荃崎村の時代から住んでますけれども、そういうのを見ると、いろんなところに世代がある程度まとまって住んでいる感じがする印象なんです。つくば市のお話をいろんな方がされるときに、つくば市は高齢化世代と子育て世代が混在しているっていうか、いろんなところに両方両立しているみたいな感じで言われることが多いと思うんですね。それに対して、高齢化地域はこうしましょう、子育て世代はこうしましょうって、それぞれ何かバラバラにやってる印象がものすごくするんですよ。何が言いたいかというと、私たち森の里、つくば荃崎地区で、昭和50年代の半ばごろに日本一人口増加率が上がったんですね、200%位、要は倍になったんですよ、一気にそういう地域を経験してきてます。そういう経験をしながら今度、今人口が急激に世代がそのままスライドしてるんで減っている。私はその子供世代なんですけれども、団塊ジュニアというやつですね。そうすると、見てきた中で多分、私の先輩方、親の世代というのは、人口が増えたときの問題、私が荃崎中学校に入った時に高崎中学校に分離したりとか、今研究学園とかそういうところで起きてる問題を30年前、40年前にまんま経験してきてるんですね。今それが減ってきて過疎化してるっていうか、その学校は少子化している問題まで、一連の流れを経験してきていて、それって、皆さん今ここにいる方もそうなんですけども、研究学園、みどりで今後30年後にはほぼ間違いなく起きる現実なんです。これは多分、多少の種類は違うにしろ、絶対に起きる話です。同じ世代が一気に入ってきたらどうなるかというのですね。今の渋滞の話もそうです。例えば私が、子供のころって牛久駅の渋滞ってものすごかったんですよ。というのは、今の先輩は親の世代が皆さん牛久駅から通勤していたんで、一気にそこに車のお迎えとか、送迎とかが集まってくるという状況になったときに、最後のまとめとして、つくば市として、例えば今荃崎の私の先輩方が経験したきたことって、すごい財産だと思うんです。その経験って誰も経験したことがないことを、人口の爆増から激減から少子化まで一貫して経験してきているというのは、今の僕たちの親の世代と例えば荃崎にいる人なんか多分特にそうなんですけど、その人たちと、今現実</p>	<p>とても魅力的な提案だと思います。我々も個別に話を聞いたりはしていませんけれども、確かにその住民同士で、これから先30年後に、研究学園などのエリアで起きることを実際経験した方たちからの知見をいただくという機会ってというのは非常に重要だと思うので、どういうアプローチがあるか、考えてみたいと思いますが、今も区会での勉強会などというのはやっています、研究学園地区などは特に区会が結構活発であったり、みどりのでも区会の皆さんが独自にNPOとか立ち上げたりしていますので、そういう皆さんにお話を投げてみて、荃崎の皆さんからもいろんな経験聞いてみませんか、なんていう提案を、私からしてみたいと思います。おっしゃる通りで、おそらく理想的には、そういうことから学べば、もう少しずらした開発をする方が街としては理想なんだろうと思うんですね。ただ、ディベロッパーも土地を持ってる皆さんも、そんな悠長なことを言うてなくて、願わくば本当は当初計画からその販売を少しずつずらすということがあってもよかったんだと思いますが、やっぱり少しでも早くしなくちゃというところがあったので、なかなかそういうことがうまくいったケースってのは多分ないと思います。今つくば市としては、まさに学校をどんどん作ってるわけですけども、その学校は最初から人口減少時代を見据え、私が市長になってからの設計は全部、セキュリティを区切れるように配置したうえで1階に図書館とか音楽室とか、この間オープンした学校もこの秋ぐらいから、最初から地域に開放をしていくというような設計にしています。そうすることによって、地域の皆さんが、自分たちの活動をしてコミュニティを分厚く作っていくということをおくとか、将来的に建物が転用しても使いやすいものにしていくとか、そういうことは考えているんですが、それだけで対応できるレベルの話ではないと思います。地域住民間の繋がりによってその人口減少時代を見据えて、今から活動していくとかですね、今おっしゃったように、結構減ってもちゃんと暮らしていけるんだなみたいなことを、また思えたりするという実感とか、或いはこういうことが課題だから、今のうちから行政と話しといた方がいいよとかですね。そういう知見をいただける機会って非常に重要だと思いますので、どんなアプローチがあるかいろいろ考えてみたいと思いますので、ぜひまたご相談させていただければと思います。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
<p>に子育てに困ってる方々、子供が増えちゃって学校が足りないよ、教室が足りないよ、これから高校もどうするんだ、というまさに私ども牛久栄進高校ができた世代ですから、そういうのも含めて、交流する場所とか意見を、市民同士で、例えばSNSでやりとりはするんですけども、どうしてもやっぱりちょっと攻撃的になってしまったりとかするわけですね、当然顔も見えないし、無責任なこと言ったりとかするんで。そういうのを、行政としてこの各地域の実際その担当者とかじゃなくて、住んでいる方が、例えば、今の森の里とかに住んでるたくさんの先輩方が、今の困ってる子育て世代の子供がたくさんいてちょっといろんなこういう面で困ってるんだよとかっていうのを相談されたときに、いや、僕たちの時はこうやりましたよとか、っていうのを指導とかではなくて、選択肢の一つとして、こういうことありましたよってことを提案し合う場所、逆にそれを見ることによって、今のつくば市に住んでいる子育て世代の方々が、将来ここに住んでるとこうなって、でも高齢化になっても安心なんだなっていうところに逆に繋がると思うんですね、今の子育て世代の方が。そういうものを、市として行政として、場所を作っていくっていうことは、一つ考えていただけると嬉しいなと思うんですが、いかがでしょう。</p>	

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
<p>9 ①こういう言葉を使うと差別だと言われるかもしれないけども、社会的な弱者が、つくばはちょっと特殊な形でできているんじゃないかと。つまり、新しい技術や新しい施策ができれば、それにすぐ馴染んで対応して使うという人と、使えないという人が必ず生ずるわけです。その使えない人に対してどうするか。</p> <p>ちょっと小さい話から始めますと、一つは私は図書館にたまに遊びに行くんですが、北2駐車場に自分の車を入れて歩いて図書館に行くんですね。途中で渡らなきゃいけない横断歩道が結構長いんです。僕は、1回の信号で渡り切れるんですけども、図書館に来る方の中には1回では渡り切れないような人がたまにいるんですね。これは、前に地方の町で幅の広い道路の横断歩道を1回で渡るのは無理だという人が出始めたらしくて、真ん中の中央線のところに、休憩スペースというか留場、そこにいれば車にあんまり影響ないっていうような形のものをつけているところを見たことがあるんです。例えば年取って足が遅くなった人というのは、今後どんどん増えていくと思うんです。つくば市は今若い人がどんどん入って来てる段階ですが、いずれ年寄だらけのまちになると思うんです。</p> <p>二つ目は、認知症基本法というのが6月14日に参議院通りましたが、その前の令和元年に認知症施策推進大綱というのが出ていて、一応斜め読みしましたが、なかなか難しいので全部を理解したとは言えないんですが、ここで、問題なのは病気の人に対する施策はいっぱいあるんですが、認知症の特徴なのかもしれないんですが、介護者に対するサポートが薄いんです。介護者は、一番辛いんじゃないかというのがあって、小学校、中学校の子供が親の面倒、或いは兄弟の面倒見なきゃいけないっていうヤングケアラーの話と、介護をやるために介護離職をする比較的若い人たちがいるんですね。それから、80過ぎて老老介護をやっていると介護する側の方がかなりへばってくると、そういういわゆる弱者に対する施策として、今年の6月14日に、認知症基本法ができて国としての方針が決まってるんですけど、国は前と同じように、やや丸投げで地方自治体に事業を言ってくるはずなので、その辺に対する対応を、まだ6月の公布で、今8月ですからまだそんなところまで議論進んでないかもしれないですけど、介護者などへの対応をもう少し考えていただきたいというのが2点目です。</p>	<p>①確かに図書館は駐車場からそれなりに歩くので、できれば私ももう少し近くに設計ができなかったのかなとは正直思っているところですし、たくさん本借りてる時なんかは、まあまあ歩くのしんどかったりするなっていうのは私でも感じたりしますので、そういう中での移動で、例えば、先ほどのパーソナルモビリティで1人乗りのロボットっていうのは、私が理想としている図としては、あれがどんどん動き回っていて、タクシーに乗るように、例えば北2の駐車場に車停めたらそこに来てくれて、図書館まで乗せていって降ろしてもらえるような、それぐらいのサービスにしていきたいなと思っているんですよ。いわゆるラストワンマイルなんて言い方されますけれども、バス停から自宅までとか、スーパーからどこかまでとか、そんな長い距離じゃないけれども、特にこの暑さなんかで歩くのはしんどかったりするようなケースがあったりするので、実はそういう実験もしていて、先ほどの信号のお話のように、電動の自動運転の車椅子で、信号を赤か青か感知して進むとか、そういうのも産総研と一緒に協力して取り組んでいるんですが、まだまだ実用化ができていないので、そういうものをできるだけ早く実現できるように、今スーパーシティの中でいろんな取組を行っているところです。ちょっと時間が一つ一つかかってしまうなというのはありますけれども頑張ります。</p> <p>それからケアラーについても非常に重要なテーマで、おっしゃるように今年の6月に新しい法律ができて、法律できるのは分かっていたし、つくば市もこれまでもオレンジカフェとか、認知症サポーターとかいろんな制度をやってきていますが、今年の4月から新しい取り組みとして、本人のミーティングと、家族のミーティングというのも始めています。当事者同士も趣味の話などしたりすることになっていきますし、やはり介護者は介護者で大変苦勞をしていますので、そういう皆さんが自分の気持ちも含めて吐露をしていくような場所をまず作って、それから必要な支援の制度、介護保険などで使える制度なども、できるだけわかりやすくお伝えをして、こういうサービスありますよとか、そういうお話をそういう機会にできていけばいいと思っていますし、今、チームオレンジという活動が始まっています。認知症のサポーターがチームで介助してる人を支援していくということも含めてやっていますので、そういう場所を少しでもお使いいただいたり、ご相談いただいたりするといいなと思っています。ちょうど、もうすぐ出る市報の9月号にも、9月は認知症月間ですので2ページぐらい使って情報を出す予定ですので、市報が発行されたらぜひお読みをいただければ、お近くのオレンジカフェとかいろんなイベントであるとか、そういうことを活用いただければありがたいなと思います。</p>	

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
	<p>②ありがとうございました。あと最後にもう一つだけ、このタイプの、遠隔で自宅にいたまま参加できるという会議をなるべく上手く運営して、数を増やして欲しいですね。介護しながらのこの2時間がすごく貴重に感じます。前後に交通機関を使って移動するっていう時間がないので、介護して本人は寝せながら参加できるっていうので、ぜひこういうスタイルの会議を普及していただきたいと思います。</p>	<p>②はい、これからもオンラインは継続してやっていきたいと思います。ありがとうございます。</p>
10	<p>つくばの交通網の件で、つくばではやっぱり車がないと、活動的に生活できないっていうのは私も痛感しまして。つくばに引っ越してきて妊娠がわかった際、産前産後の1年車がなかったんですね。民間のバスやタクシーを利用して妊婦健診に行ったりとかして、産後は結構長めに里帰りして、地元でも車がないと産婦人科なり小児科っていうのは行きづらいなって、父が車をまだ運転していたのでよかったんですが、やっぱりつくばに戻ってくると、車持とうって話はずぐにして、そのあと半年ぐらいで持ってたんですけど、やっぱり一番大変な新生児を抱えてる時期なんかは、郵便局にすら行けないとかがありまして、ちょっと辛いとか思って、近所にその時は知り合いもいなかったんで乗り合いとかもできなくて。つくタクを利用してみたんですけども、まず予約がすごく取りにくかったんですね。9時なら9時ジャストに近所のつくタクのバスストップにいなきゃいけない。帰りは帰りで、その日の当日キャンセル待ちでもしないと予約できなくて、結局帰りは民間のタクシー呼ぶか、市役所ぐらいでしたらTXとバスで帰ってくるとかいう生活してまして、高齢者の方は免許返上した方がいいと言われていますが、急に免許を返上して、自転車に乗れる方だったらいいけど、ちょっと体的に辛いとかだったら、やっぱり車があるっていう時に、パッと使える交通機関があればいいのになってすごく思ってます。そういうのを今自動運転だとか、いろいろつくバスの経路を考えていただいていることもちんちん見るんですけど、やっぱり周りのお母さんでも、車ない方なんかは家にこもりがちになるんじゃないかなと勝手に心配したりもして、何かしていただければと非常に思っています。ちょっとでも外に出て普段と違うところに行けたり、楽しいことがあったら、それだけで子育て中の辛い時や介護中の辛い時の気分転換というか、そういうのに繋がるんじゃないかなって、外にもっと出ようっていうのを支援するためにも、生活を便利にするためにも、何か交通網をと常日頃考えてまいります。よろしくお願ひします。</p>	<p>まず、つくタクは、確かに予約が取れなくて、これじゃいけないということで詳細な調査分析をしたら、特定の方がものすごい数予約してるということがわかったの、実は今年の10月から、1回で予約できる回数に上限をつけたんですね。今度は1回で4件しか、要は往復2回分しか取れなくするんですね。そのことで多分、かなり空くんじゃないかなという期待は持っています。本当に、特定の方がすごく乗っていたので、何でも予約しちゃうってのはちょっとどうかと思いますので、それを少し改善できればと思っています。</p> <p>あわせて、まさにその妊産婦の方がご苦労されるお話聞いてきたので、去年から妊産婦タクシーというのを始めてまして、検診に行ったり、入院だったり、そういうのは上限3,000円で10回までというようなことも用意をしたりしています。使っていただいている方には非常に好評なんですけど、すいません間に合わなかったですね。本当にちょっと乗れるモビリティが必要だというのはまさに感じていて、それをやりたいとは思っているんですけど、なかなか規制緩和がハードルが高いんですけど、もう少し乗り放題のサービスというのも、今いろんな企業とも話をしています。こういうサービスも試験的に、全域じゃないですけども導入をできればというので、今そういう企業とも協議をしたりしています。お子さん連れだと簡単に自転車っていう話ではなくて、私もよく前と後ろに乗せて走ったりしてましたが、電動じゃないと私でもしんどいなって感じだったりするので。ただ、自転車なんかも含めて、つくば市では3人乗りの自転車の補助も出していますので、いろんなモビリティを確保していくために頑張っていきたいと思っています。</p>

タウンミーティング(2023.8.19 オンライン開催) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
11	<p>①学校の話で、日本語指導教室、外国から来た子供たちに日本語を教える教室というのがありますが、あると言っても、あるところにはあるし、ないところにはないという、そもそもからそういう状態で、専任の先生もついてたりついてなかったりで、基本的にはボランティアで教えるっていうことですが、ボランティアも特に日本語指導とか、人に物を教えるということを専門にしている人ではなく、ただの専業主婦が手探りで教えるような状態でありまして、つくば市にはTIG連絡会というのあって、年に1回つくば市の建物で教育局の方とボランティアの団体が話し合う機会もあって、そこでも申し上げてるんですけども、人に物を教えるということを専門にしていない団体なので、まず物を教えるにも教えられない、何か漫然とプリントをとりあえずやらせてるみたいな状態になったりとか、学校とボランティアの連絡がちゃんとできていなくて、今日その日はイベントが入ってしまったのでなくなってしまったっていうのを行ってから知るみたいな状態、もう正直言って教育の体をなしていない状態がずっと続いていまして、そういうのを改善するためにも、もうちょっと力を入れていただきたいなと思います。</p> <p>②おそらく思ったより変わってないと思います。先生方に対しての研修は行われているのか、順次行っているというお話なんですけれども、私たちボランティアに対しての研修みたいなのもできるようにしたいなという希望はあるという話は聞きました。ただ、教材だとか、そういう何か教えるためのひな形みたいなのもあったら嬉しいなと思います。</p>	<p>①ボランティアに従事していただいております。市でも、今まで国際関係の発信は、海外に市を発信するみたいなことが市の計画で多かったんですが、いやいや今市内にいる外国人の人たちがまず安心して暮らせないとみたいなことで、ちょっと新しい計画の力点なども、キラキラした話から、もう少し地に足のついた話にも転換をしてもらっていますし、特に外国人の子の日本語の問題っていうのは、そのベースの部分なので非常に大事だと思っています。今お話あったように、日本語の加配をしている学校って、やっぱり吾妻であったり並木竹園あたりが多いんですね。谷田部にも松代にも日本語の加配はいると思いますけれども、その加配教員がすべての場所にいるわけじゃないですし、今のようにやはり日本語ボランティアの皆さんとの連携が、学校によってうまくいってないところがあるというようなことも、実際に起きてしまっているなというか、ちょっと場当たりの対応があるケースなど、以前、私もそんな話を聞いたりもしましたが、どうも今も状況が変わってないということが、今のお話からわかりましたので、きちんと情報を確認して、日本語ボランティアの方たちに、ある意味丸投げをするのではなくて、どういう研修などができるのかとか、今、国際交流協会も一生懸命日本語の教室などやっていますので、そういうところで研修とかをお願いできるかとか、そういうことも含めて相談してみたいと思います。少しでも改善できるように頑張りたいと思いますし、現場で起きていることを教えていただければ大変ありがたいと思います。ぜひこれからもボランティアやっていただけるように頑張ります。</p> <p>②まず現状確認含めてきちんとしていきたいと思います。ありがとうございました。</p>